

7. 今後の課題（施策推進のための課題）

課題1：重点施策の抽出によるメリハリのある施策展開方針の検討

キーワード：公共交通活性化のシナリオ、メリハリのある施策展開
多様な補助制度を活用した費用の集中投入

当調査で検討した施策を計画期間に設定した今後10年間において、効率的に推進していくために、将来想定される社会情勢の変化の中で最良のシナリオを考え、それに基づいて重点施策を抽出し、短期に費用を集中投入するなどメリハリのある施策展開方針およびスケジュールを検討する必要がある。

費用の集中投入については、魚津市の財政だけでなく、地域公共交通活性化・再生総合事業等の多様な補助制度の活用も視野に入れる。

課題2：鉄道駅およびその周辺整備検討に向けた基礎調査

キーワード：大規模インフラ整備、交通バリアフリー法、交通結節点の基礎調査

当調査では、北陸新幹線の開業・駅のバリアフリー化が重要な要素と捉え、鉄道駅およびその周辺整備検討を提案したが、鉄道駅については、大規模なインフラ整備であり、交通バリアフリー法などに対応した基本構想検討が必要である。

そのため、施策を実現するためには、基本構想検討に向けた詳細な基礎調査を実施する必要がある。

課題3：実験計画の立案

キーワード：社会実験、広報PR計画、検証計画

当調査で提案した施策の中で社会実験が必要なものについては、施策を実現するために具体的な運行計画、広報PR計画、検証計画等を検討し、その結果を踏まえた実験計画を立案する必要がある。

課題4：検討体制の早期整備とPDCAサイクルの導入

キーワード：市民への説明責任、検討体制、PDCAサイクル、数値目標

今後、詳細な検討および施策の推進のために、法定協議会だけでなく、分野ごとに議論でき、市民への説明責任も果たせる新たな検討体制整備を早期に行う必要がある。

また、検討体制においてPDCAサイクルを導入し、数値目標を明確にした上で、施策の進捗状況を定期的に確認していく必要がある。